
意味がわかると怖い話 少年

ニブルス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味がわかると怖い話 少年

【コード】

N0189P

【作者名】

ニブルス

【あらすじ】

意味がわかると怖い話です。 解読お願いします。

雪が深々と降り積もる北国の街に一人の孤児がいました。

1年前の冬、父親が運転する車がスリップして対向車線をはみ出して、対向車と正面衝突して、対向車は大破した。

運転席の父助手席の母は即死、後部座席の少年一人が奇跡的に助かりました。

助かった少年は事故直後は、親せきの家に預けられていたのですが事故のショックで言葉数少なく、ショックからかたびたび奇行に走る少年を疎ましく思い、

ある日この親戚は街のはずれにある孤児院の前に捨ててしまいました。

少年は孤児院に保護されて日々を過ごすことになりました。

その頃から少年には不思議な力が宿り始めました。

不思議な声が聞こえるようになったのです。外で雪遊びをしていると何処からか

・・・ねえ・・・
（少年の名前）・・・と聞こえてくるようになったのです。

ある日寝床についた少年はまたしても不思議な声を聞きます。

と思ったら

次の瞬間、死んだはずの両親が笑って立っていました。

少年は感激しました。「パパ！ママ！……あいたかった！……

」

パパ「 久しぶりだな……大きくなったなあ……パパは嬉しいよ」

ママ「ママの声が付いてくれてありがとうね ……」

少年は、目に涙を浮かべて、ただただ両親を見つめています。

「パパ！ママ！あの時僕は……」

それを聞いたパパ？が……突然……

「知っているよ、あの時はよくも……」

さっきまで優しいパパではありません……。

オマエノセイデ……オマエノメカクシノセイデ……オヤジガ……！

次の日の朝、恐怖に怯えた顔の少年が凍死していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0189p/>

意味がわかると怖い話 少年

2010年11月20日10時41分発行